



宝城中学校だより

令和6（2024）年5月2日
第4号
校長 小田 哲也

学校教育目標：「集団の力を活かして、よりよい社会の創り手として「自走」できる生徒の育成」

I. 授業参観・学級懇談会・PTA総会・部活動保護者会、ご参加ありがとうございました。

先の4月26日（金）に行われました授業参観、学級懇談会、PTA総会、部活動保護者会にご参加いただき誠にありがとうございました。

多くの保護者の皆様にご参加いただき、改めて保護者の皆様の我が子の成長に対する思い、期待と不安を感じたところです。

例えば、

- ・我が子は集中して授業を受けているだろうか？
- ・教室の雰囲気はどうだろうか？
- ・友達とは仲良くすごしているだろうか？
- ・先生方の雰囲気はどうだろうか？
- ・いじめたり、いじめられたりしていないだろうか？

など、様々な思いで、ご参加いただいたことと思います。

実際に見て、雰囲気を感じてみないと分からないことは多いと思います。

大変お忙しいとは存じておりますが、お時間をつくっていただき学校でのお子さまの様子をご確認いただきたいと思っております。

また、PTA総会の際にご挨拶をさせていただく機会があり、保護者の皆様には2つお願いをさせていただきました。

一つは、「生徒の皆さんに「自分で準備」をさせてください」ということでした。

私は男3人兄弟で、親も子育て大変だったと思いますが、小学生の時には自分でなんでも準備するように言われていました。親からは、「明日の準備はできたの？」という確認の声掛けがありました。私からも、生徒の皆さんに対しては「自分で準備する」ということを心掛けるようにと話をしておりますが、何事も準備するためには、次に何をするのか見通しを立てておく必要があります。どうか自分で準備することができるように仕向けていただくようお願いします。

二つは、「学校の先生たちと、どんどん仲良くなりたい」ということでした。

子どもたちから、学校の不満や友人の不満など日常的に聞いていると、その情報に振り回されて、気が付くと学校のことが信頼できない心持ちになってしまい、学校に対してのネガティブな印象だけが残ってしまいます。これは学校にとっても生徒の皆さんにとっても、保護者の皆様にとっても悲しいことです。

疑問に思ったことは、遠慮なく学校にご相談ください。中学生にもなると、子どもたち同士の中での出来事で、学校も気づいていない情報や出来事があります。ご相談いただきましたら、しっかりと対応を考えていきますので、その積み重ねから、学校の先生たちと仲良くなりたいと思っております。



2. 生徒総会が行われました。

連休の間ですが、5月1日（水）の午後から生徒総会が行われました。

生徒総会に向けて学級での話し合い等を何度か重ねた上で、生徒総会を迎えましたので、内容は大変よかったなど感じています。

生徒会執行部、専門委員長のみんなが、春休みのリーダー研修会から練り上げてきた提案が、承認されていき、全校生徒で生徒会が向かっていく方向性を確認していくという取り組みは、大切だと改めて感じたところです。



2024 生徒会スローガン

自他共栄（じたきょうえい）

～誰もが過ごしやすい学校へ～

生徒会スローガンの意味を紹介しておきます（議案書原文ママ）

私たち、2024年度生徒会スローガンに「自他共栄～誰もが過ごしやすい学校へ～」を提案します。

今の宝城中学校には、学年や男女関係なく仲がいいことや元気で明るいなどの良い点があります。しかし、課題点として合唱に真剣に取り組めていないことやお互いに注意し合えないこと、休み時間と授業中のメリハリがつけられていないことが挙げられます。

これらのことから・・・中略・・・

以上のことから私たちは目指す生徒像と学校像を考えました。

- ・お互いに思いやりを持って、注意できる生徒
- ・みんなが笑顔で楽しく過ごせる学校

この生徒像と学校像を達成するため、スローガン「自他共栄～誰もが過ごしやすい学校へ～」を設定しました。「自他共栄」には、「自」が自律する、「他」が他の人を思いやる、「共」が共に進む、「栄」がさかんになるという意味を考えました。この意味と重ね合わせて、宝城中学校の生徒が自律して、思いやりを持ち、共に進んで、さかえようという思いが込められています。・・・以下略・・・

※私も、この素晴らしいスローガンを全校生徒のみんなと達成していきたいと思います。